

雨雲からお日様に空の主役が交代すると、暑い夏がスタートします。昔から「梅雨明け10日（とおか）」と言われ、梅雨明け後の10日間くらいは晴れの暑い日が続くことを表します。

これから暑い日が続きますが、熱中症対策とさまざまな感染症の予防を粛々と続け、元気に乗り切りましょう。

## 夏の三大感染症

### 手足口病

口の中や手足に発疹が出る。熱が出ることも。



### ヘルパンギーナ

高熱が出て、のどに小さな水疱がたくさんできる。



### 咽頭結膜熱（プール熱）

高熱が出て、目が充血したり、涙が出たりする。



令和元年から続けていたコロナ対策によって抑えられていた、様々な感染症が、マスクなどの緩和により爆発的に増えています。

特に大流行しているヘルパンギーナは乳幼児に多い感染症ですが、みなさんも手洗いと咳エチケット（必要な時はマスクをつける）で、感染症を予防しましょう。

大丈夫？

そのひと言で救える命がある



学校で起こる熱中症は、毎年約5,000件\*。死亡事故の多くが体育の授業や部活動などのスポーツ活動中に起こっています。

もっと練習してうまくなりたい

みんなの足を引っ張りたくない

がんばり屋さんは、自分でも気付かないうちに無理をしがち。もしもつらそうな友だちがいたら、あなたが声を掛けてあげてください。

大丈夫？

水分とってる？



あなたのひと言が、友だちの命を救うかもしれません。

自然に声を掛け合える雰囲気をみんなで作っていきましょう。

## ■ 夏休み中のけがについて

夏休み中に部活動や学習会などでけがをして、医療機関を受診された場合は、スポーツ振興センターの災害共済給付金の給付の対象になりますので、部活動顧問や学級担任へお知らせください。申請に必要な書類をお渡しいたします。

## ■ 麻しん（はしか）について

夏休み中に麻しんに罹患された場合は、お手数をおかけしますが、学校へお知らせください。浦安市教育委員会や保健所への報告が必要ですので、以下のことについての情報提供をお願いいたします。

- 麻しんと診断を受けられた年月日および医療機関名
- 発症年月日
- 発症後の最終登校年月日
- 麻しんワクチンの接種歴
- 主な症状（発熱、咳、鼻水、充血、目やに、コプリック斑、発疹など）

## 健康カードを配付します

1学期中に行った健康診断のうち結果の出ているものを一覧表にしてお知らせします。おうちの方と一緒に確認し、間違いがあったら保健室へ知らせて下さい。健康カードは返却の必要はありませんので、確認後は家庭で保管してください。※1年生の「身長」について、6年生の3学期より小さくなっている人がいます。これは小学校のデジタル式の身長計と中学校のアナログ式のものとの誤差と、測定時刻が原因と考えられます。気になる人は測りなおしてみましょう。



健康診断の各検査、検診で、治療や精密検査をすすめられた人には、「結果のお知らせ」の手紙を配付してあります。

すでに受診報告書を提出している人もいますが、健康カード上には「受診済み」と記載されませんので、ご了承ください。

まだ受診していない人は、夏休みを利用して受診し、「結果のお知らせ」についている報告書を保健室に提出してください。特に、むし歯がある人は、放っておくとむし歯が進行してしまいますので、痛みがなくても早めに治療してもらいましょう。

※脊柱側湾症一次検査については、学校に結果が届くまでもう少し時間がかかります。二次検査の必要な人には結果が届き次第個別に通知しますが、異常なしの場合にはお知らせはありません。（8月末ころまでには二次検査のお知らせを配付する予定です。）